

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年6月12日（水）

### 2 確認箇所

Eタンクエリア（図1）

### 3 確認項目

フランジ型タンク除染解体作業の実施状況

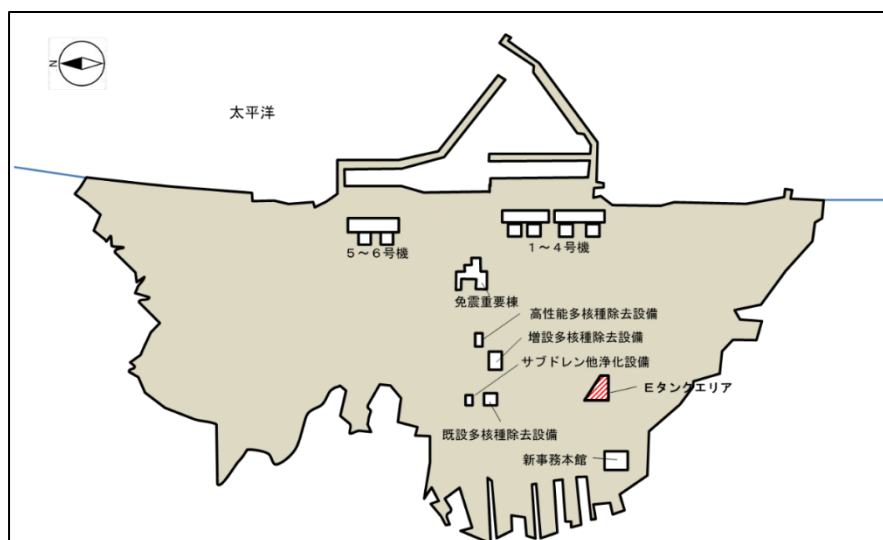
### 4 確認結果の概要

Eタンクエリアでは、フランジ型タンクの解体作業が進められており、現在までに全49基中47基の解体が完了している。

残る2基のタンク（D1・D2タンク）の底部残水（RO濃縮水）にはアルファ核種が含まれることから、底部残水の漏えいリスク低減のため、タンク内のスラッジ等を移送した後にタンク内壁を除染し、解体を行う計画となっている。

現在、D2タンクの解体作業が進められていることから、その状況を確認した。（前回確認日：[令和6年5月14日](#)）

- ・D2タンクのフランジ接続部分のボルトのうち、約3分の2が撤去されており、解体作業が進んでいた。（写真1、2）
- ・前回調査時は、タンク底板に充填したモルタルの研り作業を実施していたが、本日は、D2タンク内への入口が閉鎖されていた。（写真3）
- ・確認した範囲において、スラッジの漏えい等の異常はなかった。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) フランジ型タンク外観



(写真2①) フランジ接続部分



(写真2②) フランジ接続部分のボルト撤去状況



(写真3) タンク内入口の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。